



学校だより



学校教育目標

たくましく生き抜く力の
育成をめざす!

- ・自ら学び考える力の育成
- ・豊かな心の育成
- ・社会性の育成

千里みらい夢学園

TEL 06-6871-0661

吹田市立竹見台中学校

FAX 06-6871-1168

令和8年6月30日発行

『もう少しで夏休み 1学期の振り返りを!』

校長 西田 知子

梅雨明けが待たれるこの頃、蒸し暑い日が続いています。雨の恵みを受け、校庭の木々は緑を濃くしています。

授業の様子を観察したり、校舎を周っていると聞こえてくる声や、廊下での様子からも、一人ひとりが日々の学びに真剣に向き合っていることが伝わってきます。1学期も終盤に差しかかり、これまでの取組の成果がさまざまな場面で見られています。



1学期を振り返ると、5月半ばの3年生の修学旅行は、仲間とともに過ごした時間の中で、互いを思いやりながら行動する姿や、状況に応じて自ら判断し動く姿に、3年生としての自覚と成長を感じました。



また、全学年で取り組んだ合唱祭では、どの学級も目標に向かって粘り強く練習を重ね、その成果を存分に発揮していました。一人ひとりの声が重なり合い、学級としてのまとまりが感じられる発表となりました。思うようにいかない場面もあったかもしれませんが、それを乗り越えた経験が、生徒のみなさんをさらに成長させているはずです。

さらに、3年生にとっては、部活動の引退試合や発表の時期を迎えています。これまで積み重ねてきた努力を発揮する大切な節目であり、自分自身の歩みを振り返る機会でもあります。仲間とともに過ごした時間や努力してきた過程そのものが、これからの大きな支えとなるでしょう。

さて、夏休みまであと少しとなりました。今は1学期の学びや経験をしっかりと振り返り、自分の成長や課題を見つめる大切な時期です。日々の授業に丁寧に取り組みながら、自分なりの目標を意識して過ごしていくことが、次につながっていきます。一日一日を大切にしながら、残りの1学期をより充実したものにしていきましょう。さらに成長していくみなさんの姿を、これからも楽しみにしています。



～校舎改修工事のお知らせ～

今年度も夏季休業期間中に、校内手洗い場を中心とした改修工事があります。大型トラックの出入りや急な停電・断水の可能性もあります。また、グラウンドの使用や校舎への立ち入りが大幅に制限されますのでお知らせください。



■オープンスクール

6月5日（金）に本校のオープンスクールを実施しました。当日は多くの保護者の皆さまにご来校いただきました。ありがとうございます。お子様が校内でどのように友達や教職員と関わり、どのように学んでいるか、その一端をご覧いただけたのではないかと思います。

今年度は11月30日（月）にも2回目のオープンスクールの実施を予定しております。ご都合がよろしければご来校いただき、お子様の約半年間の変化や成長ぶりをご覧いただければ幸いです。



■合唱祭「一唱懸命 ～あつまれ合唱の竹林～」

6月17日、体育館にて合唱祭を開催しました。今年度のテーマは「一唱懸命 ～あつまれ合唱の竹林～」。

当日は多くの保護者の皆様にもご来校いただき、生徒たちの取組の成果をご覧いただく機会となりました。

各学級は、この日の発表に向けて練習を積み重ねてきました。合唱は、一人ひとりの声だけでなく、周囲の声に耳を傾けながら全体の調和をつくり上げていくことが求められます。当日は、どの学級もこれまでの練習の成果を発揮し、それぞれの個性を生かした合唱を披露していました。

練習の過程では、思うように声がそろわなかったり、意見がまとまらなかったりする場面もあったことと思います。しかし、目標に向かって仲間と協力しながら取り組む経験そのものが、学級のまとまりや人間関係の深まりにつながっていくものと考えています。

今回の合唱祭では、歌声だけでなく、生徒たちが互いを尊重しながら一つのことを創り上げようとする姿を見ることができました。行事を通して得た経験が、今後の学校生活にも生かされることを期待しています。

後になりましたが、今年度より活動を開始した保護者会の皆様にもオープンスクール、合唱祭ともに受付のご協力をいただきました。ありがとうございます。今後も様々な教育活動におきまして、可能な範囲でお手伝いいただけると大変助かります。よろしくお願いいたします。



■小さな美術館

校内の渡り廊下に、2年生が美術の授業で制作した作品を展示しています。

廊下に並ぶ作品を前に、本校の生徒や金曜日登校の児童らが足を止めて鑑賞する様子が見られます。

この授業では、「やわらかく考えること」をテーマに、一つの物事を多様な視点から捉える学習に取り組みました。絵本『りんごかもしれない』を題材に、「りんご」という身近な存在から発想を広げ、それぞれの考えを立体として表現しています。

展示されている作品には、形や意味づけにさまざまな工夫が見られ、同じ題材であっても多様な見方があることがうかがえます。中学生ならではの柔軟な発想の広がりにつづかされる場面もあり、こうした取り組みは、物事を一面的に捉えず、視点を広げて考える力につながっていくものと考えられます。

今後は、1年生及び3年生の作品についても順次展示を予定しています。渡り廊下は、さながら「小さな美術館」のように、温かみのある空間となっています。学校にお越しの際には、こうした日常の学びにも目を向けていただければと思います。

